

【中学生・高校生の部】

<会打字不会写字>

随着电脑的普及，人们越来越习惯打字，用手写字的能力大大下降，很多人已经变成会打字而不会写字了。现在，尽管小学生和中学生在老师的要求下还会练习写字，但到了大学和参加工作以后，大部分人就不再用笔写字，而改用电脑打字了。

用电脑打字实在太方便了，比如，很多四个字的成语，用拼音输入，只需要打4个字母，一两秒就可以打出来，又快又准确。但就是因为太方便了，人们就不再注意这些字到底怎么写，时间一长，当然就不会写了。提笔忘字，已经成了年轻电脑族的家常便饭。

傅由 编著《发展汉语》第二版 中级听力（I）北京语言大学出版社
※一部字句改变

【大学生・院生の部】

<没有电子邮箱>

有一个失业的年轻人，到一家电脑公司去应聘一份清洁工的工作。面试以后，公司告诉他，他被录取了。

“请你把你的电子邮箱告诉我们，这样才方便跟你联系。”年轻人说：“我没有电脑，所以也没有电子邮箱。”公司告诉他：“对我们来说，没有电子邮箱的人等于不存在的人，所以我们不能聘用你。”

他失望地离开了这家电脑公司，这时他口袋里只有10块钱。他来到市场买了10公斤土豆，挨家挨户地去推销。两个小时后土豆卖光了，他赚了5块钱。

他从来没想到自己竟然可以这样挣钱。于是，他继续推销土豆，业务不断增加，挣的钱越来越多。短短五年以后，他成立了一个非常大的“挨家挨户”销售公司，用便宜的价格，把新鲜蔬菜和水果送到客户的家门口。

保险公司找到他，要为他和家人设计一套保险，他同意了。签合同同时，保险公司的人向他要电子邮箱。他不得不再次说：“我没有电脑，也没有电子邮箱。”保险公司的人很吃惊：“您有这么大一个公司，却没有电子邮箱。想想看，如果您有电脑和电子邮箱的话，可以多做多少事情啊！”

他轻轻一笑，说：“那样的话，我就会成为电脑公司的清洁工。”

傅由 编著《发展汉语》第二版 中级听力（I）北京语言大学出版社
※一部字句改变

【一般の部】

<经验丰富>

在一家高档餐厅里，人们正在用餐。突然一个人焦急地大声叫嚷：“天哪！我儿子噎着了，他吞下了一枚硬币，有谁能帮帮他？求求大家，帮帮我儿子！”

“我来！”一个坐在附近餐桌的男子站了起来，稳步向孩子走去，脸上没有丝毫慌乱的神色。他用右手捏住孩子的腮帮子，孩子的嘴立刻就张得大大的，然后再用左手绕住孩子的下腹，狠狠地收拢胳膊一勒，“当”的一声，硬币从孩子嘴里蹦了出来。完成了这一系列熟练潇洒的动作后，他泰然自若地走回自己的餐桌接着用餐，仿佛一切都没发生过，在场的人都看呆了。

半晌，孩子的父亲才回过神来，万分感激地走到恩人面前：“太谢谢您啦！没有您，会有什么结局，我想都不敢想。幸亏遇见了您……您一定是一位经验丰富的儿科大夫吧？”

“不，我在税务局工作。”

<https://www.xigushi.com/yimgs/15118.html>
※一部字句改变

【中学生・高校生の部】「文字は打てるが書くことが出来ない」

パソコンの普及に伴って、人々は文字を打つことに慣れてきたが、手で文字を書く能力は大きく下がり、多くの人が文字は打てるが書くことが出来なくなってしまった。今では、小学生や中学生でさえ先生に言われてまだ文字を書く練習をするが、大学生や社会人になると、ほとんどの人はペンで文字を書くことはなくなり、パソコンで打つようになる。

パソコンで文字を打つのは実際にとっても便利である。例えば、多くの四字熟語はピンインで入力し、4つの文字を打つだけで、1、2秒で打つことができ、速くて正確である。しかし、便利が故にこれらの文字をどのように書くのかを気に留めることがなくなり、時間が経てば、当然に書くことができなくなった。筆を持って文字を忘れることが若者のパソコン族では日常茶飯事となってしまった。

【大学生・院生の部】「メールアドレスはありません」

ある失業した若者がパソコン会社の清掃員の求人に応募した。面接後、会社は彼を採用した。「君のメールアドレスを教えてください。その方が君と連絡を取りやすいので」

若者は言った。「私はパソコンを持っていないのでメールアドレスもありません」

会社は彼に言った。「我々にとって、メールアドレスが無い人は存在しない人と同じである。だから、君を雇うことはできない」

彼は失望してパソコン会社を去った。その時彼のポケットには10元しかなかった。彼は市場で10元分のジャガイモを買い、一軒一軒家を回って勧め、2時間後に売りつくして5元儲けた。

彼はこの様にお金儲けができるとは考えたことがなかった。そこで、ジャガイモ売り続け、仕事は増え、だんだんと儲けが増えていった。たった5年で彼はとても大きな「挨家挨戸」販売会社を設立し、安い値段で新鮮な野菜や果物を顧客の家まで届けた。

保険会社は彼に本人と家族の為の保険を勧め、彼は同意した。契約時、保険会社はメールアドレスが必要と言った。彼は仕方なく、「私はパソコンを持っていないのでメールアドレスもありません」と言った。保険会社の人びびっくりして、「こんな大きな会社なのに、メールアドレスがないのですか。もしパソコンとメールアドレスを持っていれば、他にどれほど多くの事ができるでしょうか」と言った。

彼は笑いながら、「それなら、きっとパソコン会社の清掃員になったことでしょう」と言った。

【一般の部】「経験豊富」

ある高級レストランで人々が食事をしていました。突然、一人が慌てて大声で叫びました。「大変！子供がむせながら硬貨を飲み込んでしまった。誰か助けて。息子を助けて！」と。

「わたしがやりましょう！」近くのテーブルに座っていた男性が立ち上がり、ゆっくりと子供の方へ歩き、慌てた表情は一切なかった。彼は右手で子供の頬をつねると、子供の口がたちまち大きく開き、左手で子供のお腹を抱えながら、腕をしっかりと締めた。「当」の一声で硬貨は子供の口から飛び出してきた。この一連の熟練された動作が終わると、彼は落ちついて自分のテーブルに戻り、食事続けた。まるで何も起こらなかった様であり、その場にいた人は皆あつけにとられた。

しばらくして、子供の父親が我に返り、感動して恩人の前に行き、「大変ありがとうございます。あなたがいなかったら、どんな結末になっていたか。想像したくもありません。あなたに巡り合えて幸いです。あなたはきっと経験豊かな小児科のお医者さんなのですね？」と言った。違います。税務局の職員です。